

校長として、本校での二年目を迎えました。今年度もどうぞよろしく願いいたします。今年も、みゅうの丘は、木々の青葉の美しさや、若い芽の命の力強さがあふれる季節を迎えました。様々な学びに気持ちよく取り組める時期です。



さて、今年4月1日に新しい元号「令和」が発表されました。「令和」という言葉の出典は、日本最古の歌集「万葉集」ということです。

内閣総理大臣の会見で、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められている」と述べています。そのような思いが込められたこの「令和」が5月1日から始まりました。

今年の始業式では、新しいことが始まるこの時期に、新しい学年になって、何かに挑戦してみるものよいかもしれませんね、という話をしました。

新しいことや初めてのことは、緊張する人が多いと思いますが、少し勇気を出して、自分から挨拶をしてみる。慣れてきたら、相手の良いところを伝えられるとよいかと思います。

自分の良さとは、大人でもなかなか気づきにくいものです。小さなことでも、誰かに言われると嬉しくなります。また、自分では気づかなかったことが、自分の良さであったと気づかされることもあります。自分の良さを改めて知ること、自分をもっと好きになり、少し自信が持てるのではないのでしょうか。また、そのことに気づかせてくれた周囲の人に対しても安心感をもち、そのような人たちとの学校生活がより豊かになっていくと思います。

友達同士、教員と児童生徒、あるいは、病棟スタッフの皆様と児童生徒など、多くの人々との関係の中で、そんな新しい自分を発見していくことができる令和元年度にしていきたいと思います。

今年度が始まり、「令和」がスタートしました。「令和」に込められた思いのように、私たちもこの天竜特別支援学校で、児童生徒を中心に、保護者の皆様、病棟や福祉関係者の皆様、教職員等が美しく心を寄せ合う中で、より良い教育を行い、児童生徒一人一人の美しい花を咲かせることができるように、努めていきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

校長 岩附祥子

